

令和2年度 運営方針及び事業計画

基本理念

“ ら ら ら ” みんな

はるかは、「子ども、家族、地域の良きパートナーとなり、ともに生きる、ともに暮らす」日常を支える法人でありたいと願っています。

※「ら」は、「良」草書体であり、寛容な気持ちでみんな「認め合おう」という意味を込めています。だれもが、“ららら”と言葉を発するとき、「良い方向に向かっていこう・・・」という気持ちで子ども、家族、職員が、今日もみんな元気に暮らせている時、ちょっとうまくいかない時、楽しい気持ちの時の“ららら”が合言葉となればと願っています。

1. 法人重点目標

① 経営基盤の自立化に裏付けられた自立経営の確立

施設整備を見据えた経営計画を立て、四半期ごとに評価し、職員全体で共有し目標の達成に向けた取り組みをする。

② 子育て支援拠点施設に向けての強化

学校および児童相談所、地域社会との連携を強化し、社会的に開かれた信頼される公益事業を実践する。

はるか子どもの相談センターの機能強化により、地域住民にとって一つの社会資源となるように地域の中で一定の役割を果たし、地域とよい共生関係を基本とした、子育て支援拠点施設の実践を行う。

③ 施設の透明性を高め、施設機能強化を実践

- ・ホームページ・広報誌による情報開示
- ・第三者評価の評価を活かしたアセスメントの実施と改善
- ・コンプライアンスの推進とガバナンスの強化
- ・情報共有と意思統一のためのコミュニケーションの実践

④ 人材の育成と研修を推進する。

「社会性」「専門性」「人間性(寛容)」を基本とした人材育成の計画を立て、キャリアパスによる人事考課を行う。特に、理念を現場に浸透させるため「人間性(寛容)」の向上による養育の基礎になる取り組みを実施する。

2. 方針

◎職員姿勢

1. 寛容であること

相手の気持ちと自分の気持ちを理解し、認めること。子どもにとって、「最善の利益」を保証する。

2. 自分の身の丈を知り、成長すること

人と比較しないで、他人を見て自分にたりていないかこと知ることから、行動を計画する。

3. 子どもも一人の人

子どもが自らの意志で人とつながり、行動する場や関係を大切にする。
子どもを子どもと見ないで、人間として認め合う。

- ① 「美点凝視」を心がけ、養育者として自ら成長する姿勢が、子どもの成長に繋がる雰囲気を作るチームワークを構築していく。
- ② 「凡事徹底」を念頭に5S運動を中心とした環境整備を常に心がける。
- ③ 報・連・相・確認を徹底し、情報共有と認め合いの中からチーム形成を実践する。

(チームビルディングの姿勢)

- ④ 「至誠一貫」誠意をもって何事にも立ち向かうこと

「知行合一」どんないいことを学んでも、実践できなければ同じである